

# ひとつの目

## 百一十町村を行く

(36)

### 水俣市

ことになり、昨年七月に交渉を再開、両者が歩み寄って、十二月よ

しかし、しゅんせつが始まったものの、問題は山積している。果と漁協との協定書に示された対象地域の総面積は十二万八千八百平方尺なので、本年度のしゅんせつ面積（一万三千平方尺）は一割にも満たぬもの。そして天草航路の起点である浮き桟橋から旧岸壁にかけてのしゅんせつは当分見送り。

水俣港の警を祝う祝賀会と安全祈願祭は、さる六日新岸壁の広場で行なわれた。水俣市民にとっては長い間の念願だっただけに、参列した関係者二百人の表情も明るかった。

本年度の工事は三十八年度の繰り越し分を合わせた三千三百万円で、新岸壁に沿った航路と泊地など、特に早期しゅんせつを迫られている区域一万二千平方尺を、これまでの水深三尺から六・五尺にしようというものだ。

同港は果下では三角港について三十二年に外国貿易港となり、三十五年には重要港湾の指定を受け



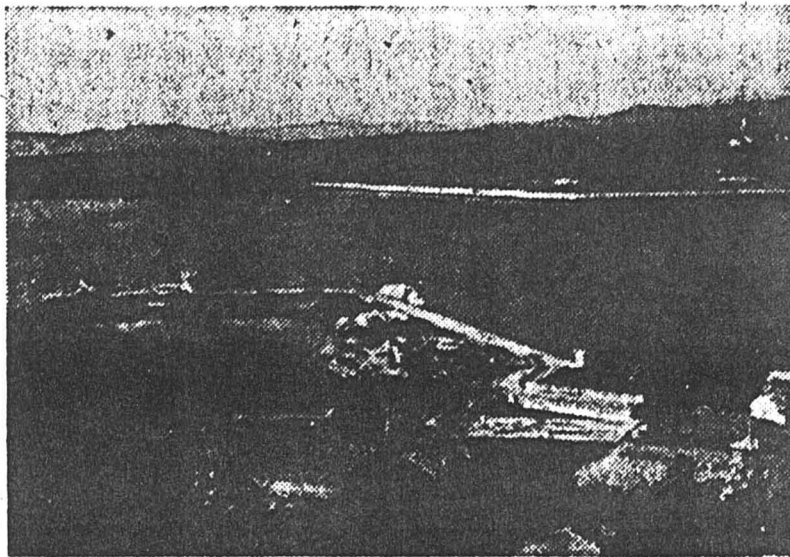
水俣除染が強く反対したためで、漁業補償金額で果と漁協との話し合いがつかず、三十六年度以降の手算はお流れになってしまった。果もこの話し合いに

はサシを投じたかっこうだった。補償金の一部を市も負担する

り。海運業者がひんぱんに利用するのはむしろ旧岸壁なのだ、三十三

# 修改港水俣の悩み

## 急がれるしゅんせつ工事



（橋の左側が新岸壁）水俣港のしゅんせつが始まったよう

ところが、同港に出入りする大型船は四十五、六隻にのぼり、ほとんどがチツソ水俣工場の原料、製品の積みおろしをしているのだが、三千ト級までならチツソ専用港の極戸で間に合う。しかし七、八千トから一万ト級のものも多く、こんな大型船になると沖合いに停泊したまま積みおろしせねばならず、不便の上ない。大型化するのには時代の勢いでもある。

「一万ト級が接岸できなければ貿易港とは言えない」と極言する向きもある。

そのうえ出入国管理事務所、検疫所など貿易港として欠かせぬ施設もない。こうした施設が完備して初めて名実ともに貿易港となるわけで、関係者は早期大幅改修を強く望んでいる。

（次回は上森町郷土村）